

第2回美里町立小学校統合準備委員会次第

日 時：令和6年7月4日（木）
午後2時30分～
会 場：美里町役場 2階201会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 必要諸室の検討について

(2) 視察先の検討について

(3) その他

○次回

第3回美里町立小学校統合準備委員会

日程 … 令和6年 月 日（ ） 午前・午後 時 分～

会場 …

4 連絡事項

5 閉 会

【資料 1. 町としての統合新校の基本的な考え方】

美里町立小学校適正規模・適正配置について（答申）

（令和 3 年 10 月 28 日・美里町立小学校適正規模等検討委員会）

◎児童の教育効果を担保する適正規模から考えると、将来は小学校を 1 校とすることが望ましい。

◎学校を 1 つにする時期については、大沢小学校が複式学級になる時期や松久小学校の校舎の耐久年数時期を勘案し、令和 15 年頃までが望ましい。

◎以下の 3 点から、新たな小学校は、美里中学校付近の町中心部に新設が望ましい。

・適正規模が 1 小学校であるならば、適正配置は、町の中心部にすることが望ましい。

・町の中心部の小学校を想定した場合、松久小学校は中ほどに位置するが、建築後の年数も一番古く、その後の改修・修繕費が多く見積もられる。また、新しい小学校としては校地面積が狭い。

・美里中学校付近であれば、小学校の教育活動がスムーズにいくように中学校との連携も図ることができる。

◎新たな学校の教育スタイルは、小中一貫校として、児童が中学校へスムーズに進学できるように、また教職員は小中学校兼務発令を行い、小学校の教科担任制や中学校の技能科目の充実を図ることが望ましい。

◎3 校を 1 校にすると、通学区域が広がり、新たな学校まで徒歩で 4 km を超える地域もあり、スクールバスの活用が考えられる。このスクールバスの活用により、通学班の編成や通学路の安全安心の確保が望まれる。

以上の答申の内容を踏まえ、美里町教育委員会事務局として以下のとおり統合新校の建設について検討しました。

【統合新校について】

小中一貫校として、美里中学校敷地内に小学校校舎を新築する。

【校舎について】

- ・美里中学校の空き教室数が増加している現状を踏まえ、
小学 5 年生～6 年生の教室は、既存中学校校舎内に設置する。
小学 1 年生～4 年生の教室は、統合新校舎に設置する。
特別教室やその他諸室については、既存中学校校舎の諸室と
共用化できるものを検討しつつ、必要な分の諸室を設置する。

【体育館について】

- ・ 既存中学校体育館は解体する。
- ・ 小学校体育館と中学校体育館を計 2 棟新設する。

【プールについて】

- ・ 既存中学校プールは解体する。
- ・ 小学校プールは外部委託も視野に検討する。

【給食室棟について】

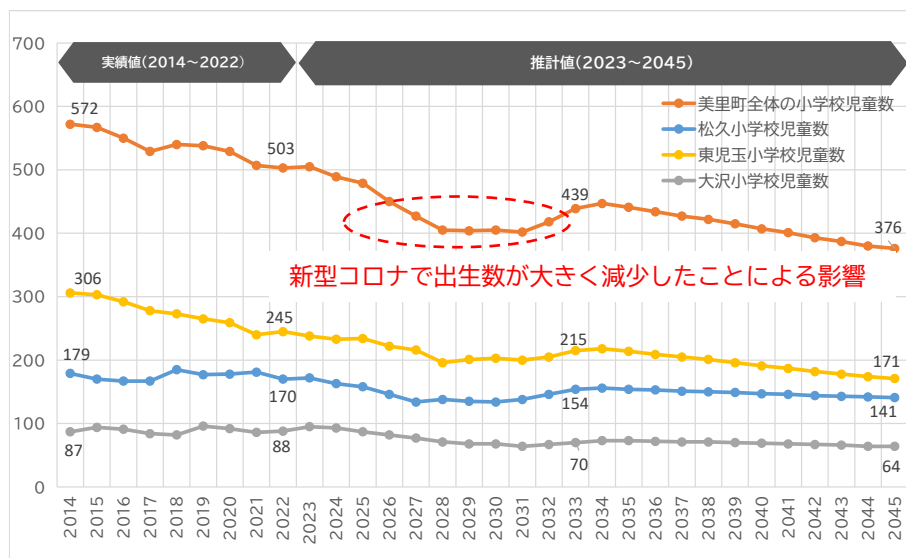
- ・ 既存給食室棟は解体する。
- ・ 統合後の児童生徒・教職員分の給食調理提供が可能な給食室棟を新設する。

【資料 2.必要諸室検討資料】

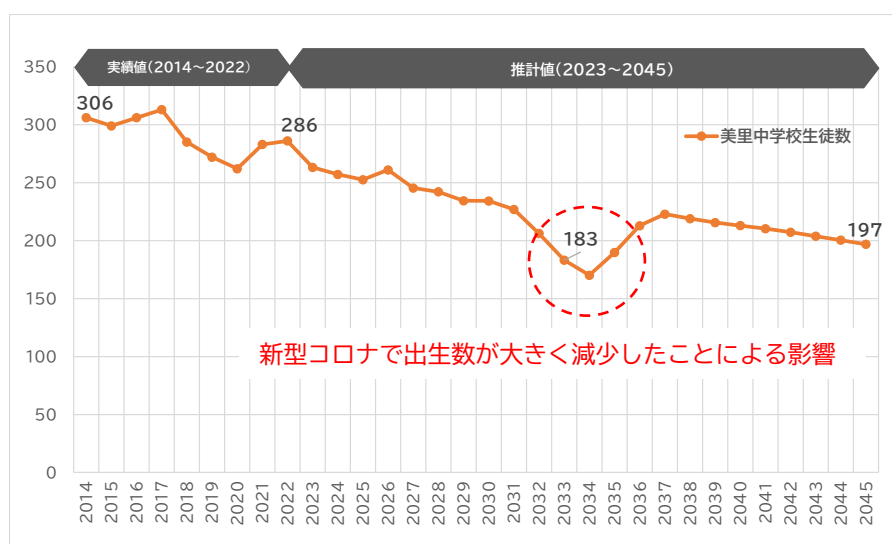
学校区別将来人口推計

将来の児童生徒数推計結果より、町立小学校適正規模等検討委員会で複式学級が生じるとされた2033年(令和15年)では、児童数は439人、生徒数は183人、2045年(令和27年)には児童数は376人、生徒数は197人となる見込みである。

【小学校児童数の実績値及び推計値】



【中学校生徒数の実績値及び推計値】



小学校児童数：	2022年度(令和4年度) 503人	→	2033年度(令和15年度) 439人
中学校生徒数：	2022年度(令和4年度) 286人	→	2033年度(令和15年度) 183人

【新設小学校及び中学校の必要教室数及び諸室必要規模の検討】

将来児童生徒数の試算、国及び県が示す学級編成の考え方を踏まえ、必要となる教室数及び規模の検討を行った。必要教室数及び必要諸室規模の検討にあたっては、新学習要領に沿い、特別教室等の諸室も含め必要面積の検討を行った。

①必要教室数設定にあたっての諸条件

a)普通教室数設定条件

必要な普通教室数は、埼玉県学級編成特例に基づく1学級あたりの児童生徒数をもとに算出した。

【埼玉県学級編制特例】

項目	小学校			中学校	
	第1学年	第2学年	第3～6学年	第1学年	第2～3学年
単式	35人	35人	40人	38人	40人
複式	8人		16人	8人	
特別支援学級	8人				

b)特別教室設定条件

設置を検討する特別教室は、『義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令第3条第1項』をもとに設定した。

【特別教室の種類】

小学校	理科教室、生活教室、音楽教室、図画工作教室、家庭教室、 外国語教室、視聴覚教室、コンピュータ教室、図書室、特別活動室、 教育相談室
中学校	理科教室、音楽教室、美術教室、技術教室、家庭教室、外国語教室、 視聴覚教室、コンピュータ教室、図書室、特別活動室、教育相談室、 進路資料・指導室

対象とした特別教室数の今後の需要予測については、学習指導要領の授業時数から、学校全体の教科別の授業時数を算出し推計を行った。

【各教科の授業時数（小学校学習指導要領）】

区 分		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
各教科の授業時数	国 語	306	315	245	245	175	175
	社 会			70	90	100	105
	算 数	136	175	175	175	175	175
	理 科			90	105	105	105
	生 活	102	105				
	音 楽	68	70	60	60	50	50
	図画工作	68	70	60	60	50	50
	家 庭					60	55
	体 育	102	105	105	105	90	90
外 国 語					70	70	
特別の教科である 道徳の授業時数		34	35	35	35	35	35
外国語活動の授業時数				35	35		
総合的な学習の 時間の授業時数				70	70	70	70
特別活動の授業時数		34	35	35	35	35	35
総 授 業 時 数		850	910	980	1015	1015	1015

【各教科の授業時数（中学校学習指導要領）】

区 分	各教科等の授業時数									特別の教科である道徳の授業時数	総合的な学習の時間の授業時数	特別活動の授業時数	総授業時数
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語				
第1学年	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	50	35	1015
第2学年	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	70	35	1015
第3学年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	70	35	1015

c)特別支援学級設定条件

特別支援学級は、知的障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱、視覚障害、聴覚障害、言語障害、自閉症・情緒障害があり、美里町の小学校では知的障害、病弱・身体虚弱、自閉症・情緒障害の特別支援学級を設けている。

特別支援学級数の実績児童数は、以下に示すとおりである。

【小学校の特別支援学級実績児童数】

種別	年度	松久小学校	東児玉小学校	大沢小学校	合計
知的障害	H25	0	1	1	2
	H26	1	0	1	2
	H27	1	1	0	2
	H28	1	1	0	2
	H29	1	1	2	4
	H30	4	2	3	9
	R1	3	3	2	8
	R2	3	3	3	9
	R3	3	4	2	9
	R4	4	4	2	10
病弱・身体虚弱	H25	0	0	0	0
	H26	0	0	0	0
	H27	0	0	0	0
	H28	1	0	0	1
	H29	1	0	0	1
	H30	1	0	0	1
	R1	1	0	0	1
	R2	0	1	0	1
	R3	0	2	0	2
	R4	0	2	0	2
自閉症・情緒障害	H25	1	0	0	1
	H26	1	1	0	2
	H27	1	1	0	2
	H28	2	1	0	3
	H29	3	1	0	4
	H30	3	2	1	6
	R1	2	2	2	6
	R2	3	4	2	9
	R3	3	5	2	10
	R4	2	4	2	8

美里町の中学校では知的障害、自閉症・情緒障害の特別支援学級を設けている。
特別支援学級数の実績生徒数及び学級数は、以下に示すとおりである。

【中学校の特別支援実績生徒数及び学級数】

種別	年度	人数	学級数
知的障害	H25	1	1
	H26	3	1
	H27	3	1
	H28	2	1
	H29	1	1
	H30	2	1
	R1	3	1
	R2	3	1
	R3	3	1
	R4	3	1
自閉症・情緒障害	H25	1	1
	H26	0	0
	H27	1	1
	H28	1	1
	H29	1	1
	H30	1	1
	R1	2	1
	R2	2	1
	R3	1	1
	R4	2	1

②必要教室数及び需要予測

必要教室数設定にあたっての諸条件をもとに普通教室数及び特別教室数の利用度の推移を推計する。

a) 小学校の普通教室数及び特別教室利用度推計

3 小学校及び美里町全体の普通教室及び特別教室の利用度の推移を推計した結果は、以下に示すとおりである。

【小学校の児童数・普通教室数及び特別教室利用度の見込み】

小学校		実績値		推計値					
		H29	R4	R5	R10	R15	R20	R25	
全体	児童数	529	503	505	405	439	422	387	
	普通教室数	17	17	17	12	14	12	12	
	特別教室 利用度推計	理科教室	1.1	1.1	1.1	0.8	0.8	0.8	0.8
		生活教室	0.6	0.6	0.6	0.4	0.6	0.4	0.4
		音楽教室	1.0	1.0	1.0	0.7	0.8	0.7	0.7
		図画工作室	1.0	1.0	1.0	0.7	0.8	0.7	0.7
		家庭教室	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2
		外国語教室	0.6	0.6	0.6	0.4	0.4	0.4	0.4
		特別活動室	0.6	0.6	0.6	0.4	0.4	0.4	0.4
体育館	1.7	1.7	1.7	1.2	1.4	1.2	1.2		
東児玉小学校	児童数	278	245	238	196	215	201	178	
	普通教室数	12	8	9	6	7	6	6	
	特別教室 利用度推計	理科教室	0.8	0.5	0.6	0.4	0.4	0.4	0.4
		生活教室	0.4	0.3	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2
		音楽教室	0.7	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4
		図画工作室	0.7	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4
		家庭教室	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
		外国語教室	0.4	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2
		特別活動室	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2
体育館	1.2	0.8	0.9	0.6	0.7	0.6	0.6		
松久小学校	児童数	167	170	172	138	154	150	143	
	普通教室数	6	6	6	6	6	6	6	
	特別教室 利用度推計	理科教室	0.6	0.6	0.6	0.4	0.4	0.4	0.4
		生活教室	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
		音楽教室	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
		図画工作室	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
		家庭教室	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
		外国語教室	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
		特別活動室	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
体育館	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6		
大沢小学校	児童数	84	88	95	71	70	71	66	
	普通教室数	6	6	6	6	6	6	6	
	特別教室 利用度推計	理科教室	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
		生活教室	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
		音楽教室	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
		図画工作室	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
		家庭教室	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
		外国語教室	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
		特別活動室	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
体育館	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6		

※利用度が1である場合100%利用されることを示すため、1以上の特別教室は不足を意味し、1以下のものは余裕があることを意味する。

■小学校の必要特別支援学級数

小学校の特別支援学級数は、過去 10 年間の実績値より、知的障害特別支援学級 10 名、病弱・身体虚弱特別支援学級 2 名、自閉症・情緒障害特別支援学級 10 名が最大数であること、埼玉県学級特別編成の特別支援学級の人数が 8 名であることから、必要学級数は 5 学級とし、必要教室数は、2 学級で 1 つの教室を利用することを想定し、3 教室とする。

小学校の必要特別支援学級数：5 学級

小学校の必要特別支援教室数：3 教室

b) 中学校の普通教室数及び特別教室利用度推計

美里中学校の普通教室及び特別教室の利用度の推移を推計した。

【中学校の普通教室数及び特別教室利用度の推計】

中学校		実績値		推計値				
		H29	R4	R5	R10	R15	R20	R25
美里中学校	生徒数	313	286	263	242	183	219	204
	普通教室数	9	9	9	8	6	6	6
特別教室 利用度推計	理科教室	1.1	1.1	1.1	1.0	0.8	0.8	0.8
	音楽教室	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2
	美術教室	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2
	技術教室	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2
	家庭教室	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2
	外国語教室	1.2	1.2	1.2	1.1	0.8	0.8	0.8
	特別活動室	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2
	体育館	0.9	0.9	0.9	0.8	0.6	0.6	0.6

※利用度が1である場合100%利用されることを示すため、1以上の特別教室は不足を意味し、1以下のものは余裕があることを意味する。

■ 中学校の必要特別支援学級数

中学校の特別支援学級数は、過去10年間の実績値より、知的障害特別支援学級1学級、自閉症・情緒障害特別支援学級1学級であることから、必要学級数は2学級とし、必要教室数は、2教室とする。

中学校の特別支援学級数：2学級

中学校の特別支援教室数：2教室

【資料3.必要諸室一覧表】

種別	室名	R4現況				将来予測	R4現況		将来予測	小中共用化
		松久小	東児玉小	大沢小	利用率	統合新校 必要数	美里中	利用率	中学校 必要数	
普通教室	普通教室	6	8	6	-	14	9	-	6	
	特別支援教室	2	3	2	-	3	2	-	2	
特別教室	理科教室	1	1	1	0.8	1	2	0.8	1	○
	音楽教室	1	1	1	0.8	1	2	0.2	1	○
	美術室	-	-	-	-	0	1	0.2	1	○
	技術室	-	-	-	-	0	2	0.2	2	○
	図工室	1	1	1	0.8	1	0	-	0	
	家庭科教室	1	1	1	0.2	2	2	0.2	2	○
	外国語教室	1	-	-	0.4	0	0	0.8	0	
	生活教室	-	-	1	0.6	0	0	-	0	
	特別活動室	1	2	-	0.5	0	4	0.2	0	
	多目的室	1	2	-	-	1	1	-	1	○
	コンピューター教室	1	1	1	-	0	1	-	1	
	教育相談室	-	-	-	-	0	2	-	3	
	学習指導室	-	-	-	-	0	1	-	1	
	教材室・準備室	理科準備室	1	1	1	-	1	1	-	1
音楽準備室		1	1	-	-	1	1	-	1	○
美術準備室		-	-	-	-	0	1	-	1	○
技術準備室		-	-	-	-	0	1	-	2	○
図工準備室		1	-	1	-	1	0	-	0	
家庭科準備室		1	1	1	-	2	1	-	2	○
外国語準備室		-	-	1	-	0	0	-	0	
生活教室準備室		-	-	-	-	0	0	-	0	
その他教材室	3	3	2	-	0	4	-	0		
管理関係室	校長室	1	1	1	-	1	1	-	1	
	職員室	1	1	1	-	1	1	-	1	
	保健室	1	1	1	-	1	1	-	1	○
	事務室・校務員室	-	1	-	-	1	1	-	1	○
	集中管理室	-	-	-	-	1	1	-	1	
	会議室	-	-	1	-	2	1	-	2	○
	更衣室	2	2	2	-	2	2	-	2	
その他諸室	図書室	1	1	1	-	1	1	-	1	○
	給食室	1	1	1	-	0	1	-	1	○
	配膳室	-	-	-	-	3	3	-	3	
	放送室	1	1	1	-	1	1	-	1	○
	児童会室・生徒会室	-	1	1	-	0	1	-	1	
	倉庫	1	-	-	-	6	1	-	6	
	職員図書館	-	-	-	-	0	1	-	1	○
	印刷室	-	1	1	-	1	1	-	1	○
体育館	屋内運動場	1	1	1	1.4	1	1	0.6	1	○
	ステージ	1	1	1	-	1	1	-	1	○
	ギャラリー・卓球場	1	0	0	-	1	1	-	1	○
	更衣室	0	0	0	-	0	2	-	2	○
	体育館倉庫	2	1	2	-	2	4	-	2	○
プール	プール	1	1	1	-	1	1	-	1	○
	更衣室	2	2	2	-	2	2	-	2	○
	機械室	1	1	1	-	1	1	-	1	○
	倉庫	1	1	1	-	1	1	-	1	○

利用率:小学校適正規模等検討資料作成業務 調査報告書資料 普通教室数及び特別教室利用率の見込み から抜粋
利用率が1である場合100%利用されることを示すため、1以上の特別教室は不足を意味し、1以下のものは余裕があることを意味する。

★必要数:小中学校の必要諸室及び規模

小中共用化:既存中学校校舎と統合新校舎とで共用できる教室等の候補

高崎市立箕輪小学校

高崎市箕郷町西明屋196-1



構造：木造2階建（一部RC造）
延床面積：5,999㎡

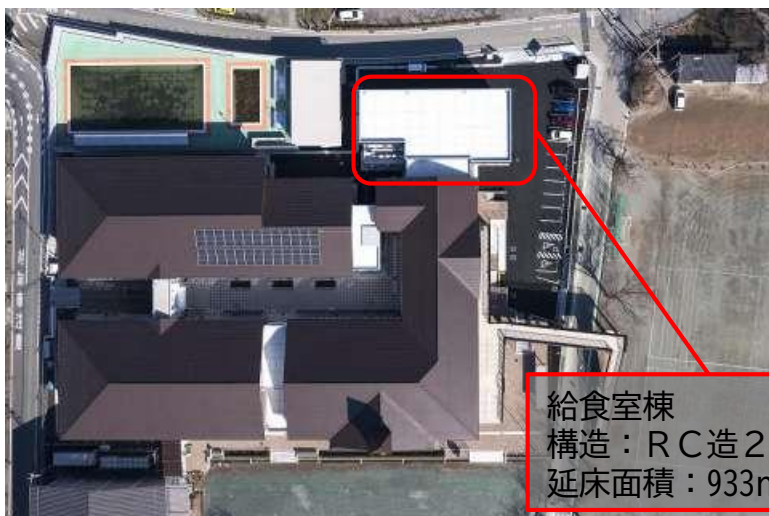
児童数：452名（R.4.8時点）
学校給食：自校式給食

1873年（明治6年）箕輪小学校開校
1971年（昭和46年）校舎新築工事完了
1995年（平成7年）校舎大規模改修
2015年（平成27年）校舎耐震工事
2018年（平成30年）校舎改築第1期工事
2019年（令和元年）プール改築工事
2020年（令和2年）校舎改築第2期工事
2021年（令和3年）新校舎完成

【特徴】

以前の鉄筋コンクリート3階建てから地域の景観に調和するように木造校舎が選定された。

校舎には高崎市産の木材が活用された。学校が地域のランドマークとなるようシンボルとなる時計台が設けられた。



給食室棟
構造：RC造2階建
延床面積：933㎡



児童玄関



多目的スペース



図書室